

(参考3) 東日本大震災からの景気の回復程度

1. 本調査について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって落ち込んだ景気の回復程度について、青森県景気ウォッチャーの方々に答えていただき、その結果をまとめたものです。

調査期間

平成24年1月4日～1月19日 回答率 99%

質問項目

現在の景気は、震災前と比べて、どの程度回復していると思いますか。

回答方法

5段階（震災前を上回っている／震災前をやや上回っている／震災前と同程度／震災前をやや下回っている／震災前を下回っている）から選択し、その判断理由を自由形式で記述。

2. 結果概要

(1) 東日本大震災からの景気の回復程度

県全体を見ると、「震災前を上回っている」、「震災前をやや上回っている」、「震災前と同程度」とする回答が合わせて52.5%、「震災前をやや下回っている」、「震災前を下回っている」とする回答が合わせて47.5%となった。

判断理由としては、下北地区に原発関係者が戻っていないため売上が減っている、県外観光客が減少している、復興需要により一時改善した後に一服したと感ずるという声がある一方、全国からの東北支援運動により商品の動きがよい、地元の人を含め震災前より人の動きが見られるという声があった。

地区別を見ると、震災前と同程度以上の回復をしていると回答した割合が、県南地区が75.9%と最も高く、下北地区では10.0%と最も低かった。

分野別を見ると、震災前と同程度以上の回復をしていると回答した割合は、企業関連が66.7%で最も高く、次いで、雇用関連が57.1%、家計関連が48.6%であった。

3. 統計表

表1 東日本大震災からの景気の回復程度（県全体）

n= 99	(%)				
	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	3.1	12.5	27.1	33.3	24.0
平成23年10月	1.0	12.0	33.0	35.0	19.0
平成24年1月	2.0	12.1	38.4	29.3	18.2
前期調査との差	1.0	0.1	5.4	▲ 5.7	▲ 0.8

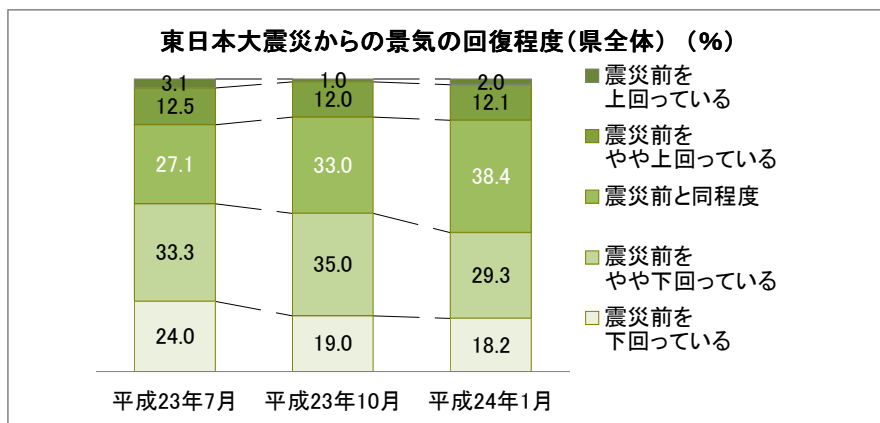
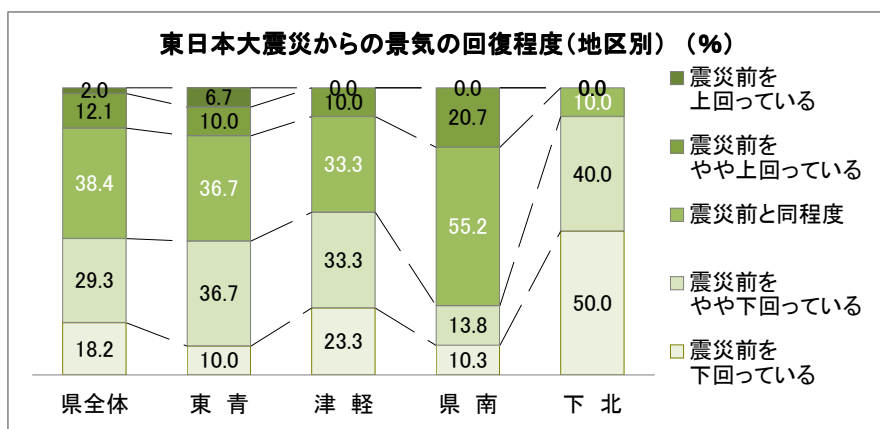


表2 東日本大震災からの景気の回復程度（地区別）

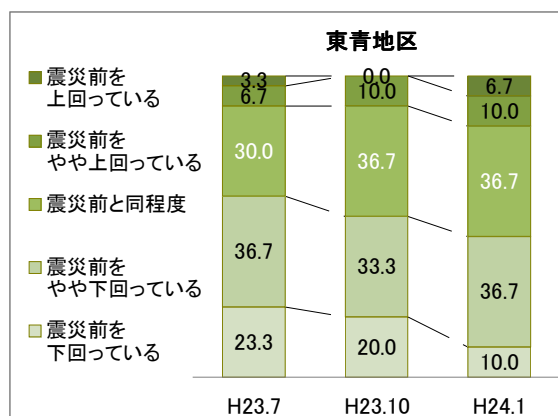
n= 99	(%)				
	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
県全体	2.0	12.1	38.4	29.3	18.2
東 青	6.7	10.0	36.7	36.7	10.0
津 軽	0.0	10.0	33.3	33.3	23.3
県 南	0.0	20.7	55.2	13.8	10.3
下 北	0.0	0.0	10.0	40.0	50.0



<東青地区>

(%)

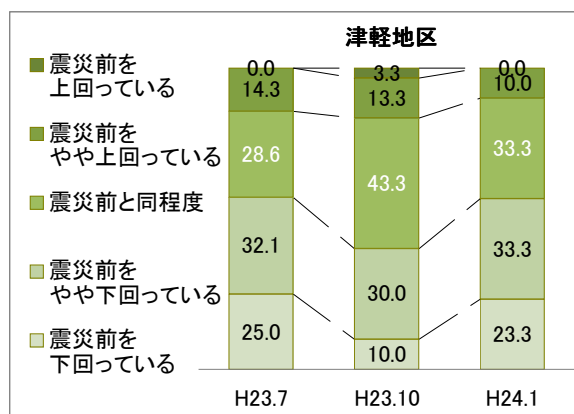
	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
n= 30					
平成23年7月	3.3	6.7	30.0	36.7	23.3
平成23年10月	0.0	10.0	36.7	33.3	20.0
平成24年1月	6.7	10.0	36.7	36.7	10.0
前期調査との差	6.7	0.0	0.0	3.4	▲ 10.0



<津軽地区>

(%)

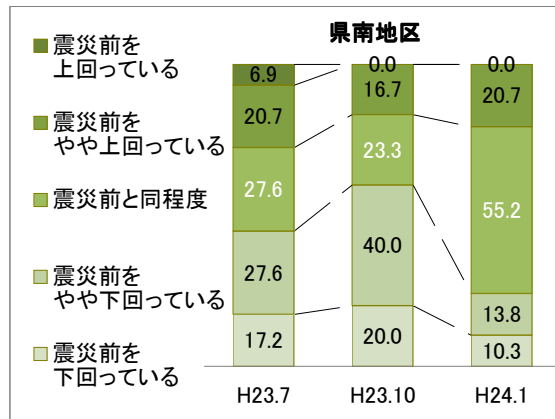
	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
n= 30					
平成23年7月	0.0	14.3	28.6	32.1	25.0
平成23年10月	3.3	13.3	43.3	30.0	10.0
平成24年1月	0.0	10.0	33.3	33.3	23.3
前期調査との差	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 10.0	3.3	13.3



< 県南地区 >

(%)

n= 29	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	6.9	20.7	27.6	27.6	17.2
平成23年10月	0.0	16.7	23.3	40.0	20.0
平成24年1月	0.0	20.7	55.2	13.8	10.3
前期調査との差	0.0	4.0	31.9	▲ 26.2	▲ 9.7



< 下北地区 >

(%)

n= 10	震災前を上回っている	震災前を やや上回っている	震災前と同程度	震災前を やや下回っている	震災前を 下回っている
平成23年7月	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4
平成23年10月	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
平成24年1月	0.0	0.0	10.0	40.0	50.0
前期調査との差	0.0	0.0	▲ 10.0	0.0	10.0

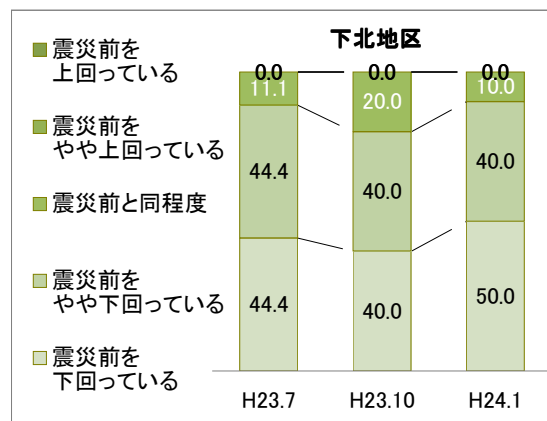
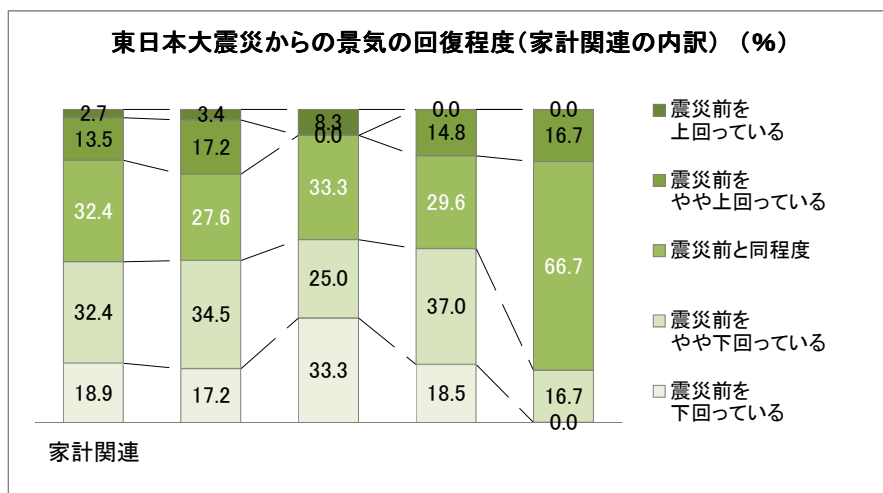
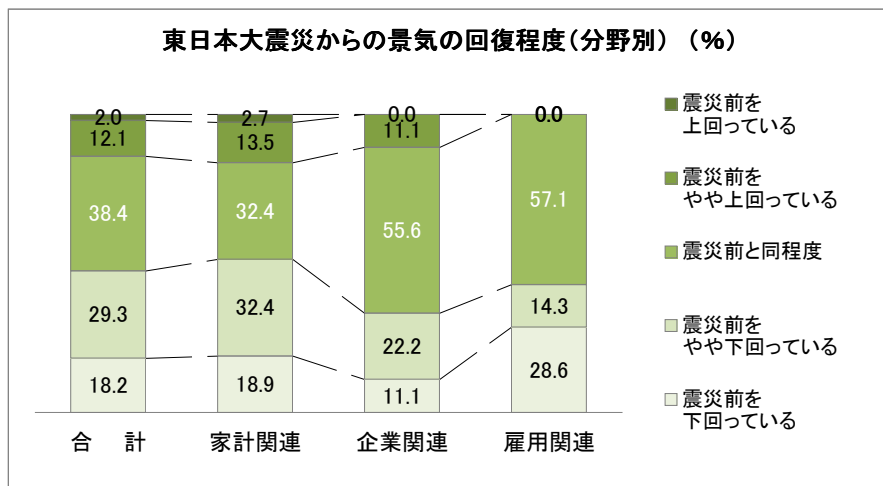


表3 東日本大震災からの景気の回復程度（分野別）

(%)

n= 99		震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
合計		2.0	12.1	38.4	29.3	18.2
家計関連		2.7	13.5	32.4	32.4	18.9
小売		3.4	17.2	27.6	34.5	17.2
飲食		8.3	0.0	33.3	25.0	33.3
サービス		0.0	14.8	29.6	37.0	18.5
住宅		0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
企業関連		0.0	11.1	55.6	22.2	11.1
雇用関連		0.0	0.0	57.1	14.3	28.6



<家計関連>

(%)

n= 74	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	4.2	9.9	29.6	35.2	21.1
平成24年10月	1.3	8.0	37.3	32.0	21.3
平成24年1月	2.7	13.5	32.4	32.4	18.9
前期調査との差	1.4	5.5	▲ 4.9	0.4	▲ 2.4

<企業関連>

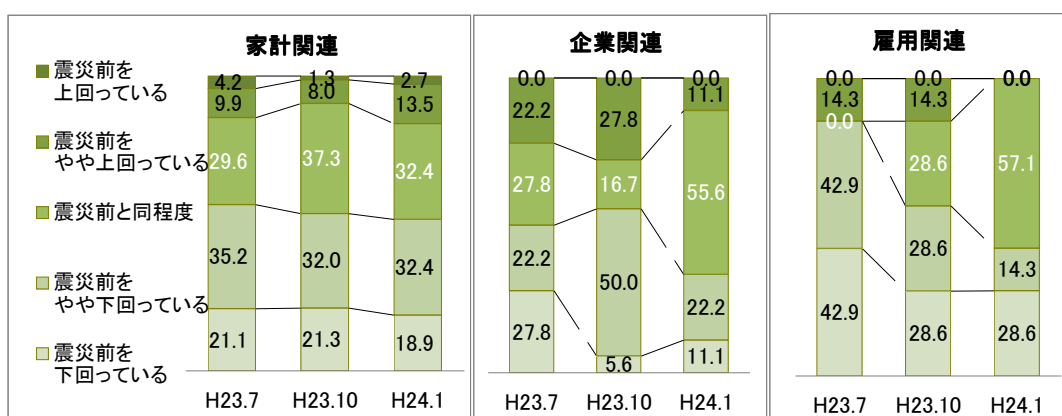
(%)

n= 18	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	0.0	22.2	27.8	22.2	27.8
平成23年10月	0.0	27.8	16.7	50.0	5.6
平成24年1月	0.0	11.1	55.6	22.2	11.1
前期調査との差	0.0	▲ 16.7	38.9	▲ 27.8	5.5

<雇用関連>

(%)

n= 7	震災前を上回っている	震災前をやや上回っている	震災前と同程度	震災前をやや下回っている	震災前を下回っている
平成23年7月	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9
平成23年10月	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
平成24年1月	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6
前期調査との差	0.0	▲ 14.3	28.5	▲ 14.3	0.0



4. 東日本大震災からの景気の回復程度の判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
震災前を上回っている	家計	東青	百貨店	現在、前年比11%の伸長も、一時的な要因が大きい。
			一般飲食店	震災というのは、どうしようもない災害ではありますが、どんな困難であろうとも、それが人の心に入り込まぬ限り、人は強くなろうと思う分、強くなると思います。
震災前をやや上回っている	家計	東青	スーパー	年末の売上は、前年以上の売上となった。「年末ぐらいは」という消費者のマインドがあったと思われる。
			衣料専門店	震災には関係なく、当店は2010年度の売上は底状態でした。2011年度年初の大雪、3月の震災後一ヶ月を抜き、底を打った売上は微増している。
			旅行代理店	秋口の商品が好調だった。
	津軽	商店街	地元百貨店が商店街のポイント発行を再開してから、商店街に来街者が増加し、少しずつではあるが、活気が戻っているのが要因。	
		旅行代理店	地元の人を含め震災前より人の動きがみられる。	
		美容院	皆、助け合いながら動いています。お金も動いています。	
	県南	スーパー	来店客数は前年割れであるが、平均買上点数と平均単価のアップにより、客単価と売上高は前年を上回っている。	
		美容院	物不足だが製造が間に合わない分、流通面で行き渡るようになってきた為、これから先の需要が増え、全体として流れが良くなる。	
		設計事務所	景気対策並びに各事業所の努力の結果。	
	企業	県南	経営コンサルタント	保険、補正予算、復旧費用の支出で良くなっている。
			広告・デザイン	もちろん、前向きになっているのは当然。質問に対する理由を分析しづらい。
震災前と同程度	家計	東青	スナック	震災前と同様に景気は悪い。
			都市型ホテル	震災の影響は薄れてはいるが、回復までにはいたっていない。しかし、確実に持ち直しており、改善している。
			設計事務所	職人の被災地への移動は見受けられますが、ごく一部。
	津軽	設計事務所	震災の為、地元には建築の箱物が少ない。震災地の方にシフトしていると思う。	
	県南	コンビニ	客数、売上金額共に同程度。	
		卸売業	全国からの東北支援運動により、商品の動きが良い。	
		一般飲食店	昨年は被災地ということで、公的資金など入ってちょっと活発だったと感じた。	

現状	分野	地区	業種	理由	
震災前と同程度	家計	県南	観光型ホテル・旅館	実績から。	
			パチンコ	漁業関連はまだかと思いますが、八戸市は比較的被害が少なかった為、回復していると思います。	
			ガソリンスタンド	飲食街も活気付いてきた感じがする。	
		下北	都市型ホテル	冬場で観光客が少ない時期でもあり、一概に比較はできないが、自粛ムードも和らぎ、かなり回復していると思う。	
	企業	東青	経営コンサルタント	消費の低迷は依然続いている。震災復旧復興は、具体的事業が見えていない。	
			津軽	経営コンサルタント	震災前と新幹線開業効果が相殺になっている為。
		県南	広告・デザイン	景気が少しでも回復しているという実感は無く、来社するセールスの方々も以前より少なくなっており、全てが守りの方向となっている。	
			食料品製造	復興需要により一時改善した後に一服したとを感じる。	
			飲料品製造	確実に復調も、つきぬける様な要素なし。	
		雇用	東青	紙・パルプ製造	震災による設備の復旧は進んだが、目立った復興需要もなく、景気全体はリーマンショック後、横ばいで推移している。
	人材派遣			震災復興の関連が少ない為。	
	震災前をやや下回っている	家計	東青	新聞社求人広告	自粛ムードも収束し、忘年会、新年会は例年通りの様相だった。
				乗用車販売	復興が遅れている為。
				商店街	昨年の震災以降、イベントの人出を見ていると、対前年比で80%位で推移している。
卸売業				被災地周辺は復興の為、人口流入がみられるが、被災地からある程度離れている地区からは、逆に人口の流出がみられ、人口減になっている。(一種の出稼ぎみたいな感じ)	
レストラン				12月だけを見ると、団体客の動きがにぶかった。後半は、クリスマスにからんで動きがよかったが、月トータルで見ると・・・。	
観光型ホテル・旅館				増税法の成立、給与下げ、年金下げ、失業増加。景気は良くないです。震災後復興費等でも頑張ろう！！	
観光名所等				震災前は、新幹線開業で「これから」という感じがあったが、今は、「どれだけもりかえてくれるか」という受身がちだから。	
タクシー				お客様の声やいろいろな方々の話を聞いていると、まだまだ自粛ムードで、震災を引きずり、やや下回っていると思います。	
住宅建設販売			大きい資金を使おうという気持ちの低下。今後、何が起きるかわからない将来への不安のための買い控え。		
津軽		乗用車販売	前年実績は上回っているものの、前々年実績と比較すると実績が戻っていない。		

現状	分野	地区	業種	理由
震災前をやや下回っている	家計	津軽	衣料専門店	当地区においては、震災はあまり影響なし。心理的に不要なものを買わない。
			一般小売店	震災後の4～6月は冷え込み、その後、7～9月は回復し上昇したが、10～12月は落ち込んできたような気がします。
			観光型ホテル・旅館	昨年同月の売上と対比して。
			都市型ホテル	震災直前は好景気要因が多かった。
			観光名所等	福島原子力発電の放射能、世界情勢、日本の政治。
			タクシー	いま一步震災前の状況に追いついていないのが現状である。
			ガソリンスタンド	県外観光客の減少
	企業	東青	百貨店	震災復興の為の動きは出てくるが、効果は、建設、資材関連の一部にとどまると考え、全体としての影響はほとんど無く、水産業関連の立ち直りの遅さが景気の減退につながる。
				旅行代理店
		下北	スナック	原発関係の方々が、お客様として帰ってきてないので、大変、売上には響いています。
			ガソリンスタンド	原発関係の仕事が減っているため、関連している業種で痛手を負っている会社があると思われます。
	雇用	東青	食料品製造	物流は回復しましたが、震災地域の人口減少の影響はまだ残っております。
			広告・デザイン	各企業の広告予算の削減が続いている。
		県南	電気機械製造	円高と海外（EU）経済の混乱の影響と考えます。
下北		食料品製造	日々の売上等の数字から。	
震災前を下回っている	家計	東青	美容院	消費に対する節約意識が高くなっているように思います。
			県南	スナック
		タクシー		被災された方々は、政府等の援助を受けながら、色々と苦心されているようだ。復旧には、時間がかかるだろう。
		下北	コンビニ	工事関係者の数が影響している。
			一般小売店	震災により原発関係は全てストップ。復興特需も皆無。

現状	分野	地区	業種	理由
震災前を下回っている	家計	下北	一般飲食店	今迄は、電力会社の恩恵を被っていましたが、その方ではまるきり駄目です。本当は嫌なのですが、悲しい事です、背に腹はかえられない状態です。自分の力では何とも仕様がなないのです。
			レストラン	原発関係者が減っているのです、震災前を下回っている。
			タクシー	原発関連の工事中断が続いている間は、景気の上昇は望めないと感じるから（特に下北地域は）。
	企業	津軽	電気機械製造	一旦は震災前を越えるまで回復しましたが、今は円高、ヨーロッパの危機、タイの洪水の影響で震災前を下回っています。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	震災前は、新幹線効果に期待して熱気をはらんでいたもので、当時とは違って活気がない。